

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道122号 ^{きさいしょうぶ} 騎西菖蒲バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	埼玉県
起終点	自：埼玉県北埼玉郡騎西町寄居 ^{きたさいたまぐんきさいまちよりい} 至：埼玉県南埼玉郡白岡町荒井新田 ^{みなみさいたまぐんしらおかまちあらいしんでん}			延長	10.4 km
事業概要					
一般国道122号騎西菖蒲バイパスは県東部に位置し、騎西町から白岡町に至る延長約10.4 kmの道路であり、本県の広域的ネットワークを形成するうえで不可欠な路線である。また、圏央道との交差箇所に(仮称)菖蒲白岡ICが設置されることから、そのアクセス道路として周辺地域はもとより、県東部の産業、経済活動の活性化についても効果が期待されている。					
H2年度事業化		S63年度都市計画決定		H2年度用地着手	
				H2年度工事着手	
全体事業費		約141億円		事業進捗率	
				66%	
計画交通量		33,000台/日			
費用対効果分析結果		B/C		総費用	
		(事業全体) 4.2		(残事業)/(事業全体)	
		(残事業) 3.6		116/160億円	
				総便益	
				(残事業)/(事業全体)	
				420/679億円	
				基準年	
				平成16年	
				走行時間短縮便益：410/661億円	
				走行費用減少便益：8/16億円	
				交通事故減少便益：2/2億円	
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（現道等の周辺路線の年間渋滞損失時間が削減される） 生活環境の改善・保全（現道等の周辺路線のNox、SPMの排出量が削減される） 					
他8項目に該当（定量的評価項目を含む）					
関係する地方公共団体等の意見					
騎西町、菖蒲町の市街地を通過する国道122号（現道）は、幅員が狭小で交通が集中することなどにより慢性的な交通渋滞が発生している。このため、地元自治体からは本バイパスの整備により市街地の交通障害が解消され、地域の活性化が促進されるものと期待されている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
バイパス部分が未整備のため、依然として市街地の交通渋滞が激しい。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
現在までに現道拡幅部の約2.4 kmを部分供用している。残る未供用区間についても用地買収はほぼ完了しており、順次、工事を行っている。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
平成19年度の圏央道の開通に合わせ、全線の供用開始を予定している。					
施設の構造や工法の変更等					
特になし					
対応方針		事業継続			
対応方針決定の理由					
以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。